

編集後記：天気編集委員会では、最近、会員の学会離れのことが議論になった。地方在住の学会員の方には、天気が学会の唯一のつながりという方もおられることであろう。そのような方にとって、天気の内容が興味を引かないもの、情報価値をもたないものであれば、学会員であることの必要性が感じられなくなるということもあるかもしれない。天気の編集の仕事の重要性が改めて感じられる。

天気の内容が面白くない理由として、内容が高度過ぎて難しい、などの意見があるようである。天気の読者は、気象にちょっと興味を持っているといった方から気象学を専門に研究される方まで実に幅広く、それに伴い天気に期待する内容もさまざまと思う。そのような事情を考慮して、論文、研究会報告、情報の広場

など様々な欄を設けて、会員の幅広い要求に応えるようにしている。しかし、実際に、要求に応えきれているかは、読者の判断によるしかない。天気が読者の要望から離れて偏った内容とならないために、読者の皆さんの意見や、やってもらいたい企画などを編集委員会まで寄せていただくようお願いします。

また、天気の紙面は会員の方全員に開かれています。若干の手直しをお願いすることはありますが、どのような原稿でも、その内容に適切な欄を探し可能な限り掲載するよう心掛けています。堅苦しく考えずに投稿していただくようお願いします。

天気が届いたら、読まずにそのまま本棚いきとなることのないよう、毎月興味をもって内容に目を通していただけるようにしたいものである。（中村誠臣）